



夢と希望持てる飛躍の年に

中泊町長 小野 俊 逸

町民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。よき初春をお迎えるのこととお慶び申し上げます。日頃は町政に對し、皆さまから多大なるご協力、ご理解をいただき、誠にありがとうございます。この場をお借りいたしましたして、厚くお礼申し上げます。

■再び政權変わる

衆議院の解散に伴い、昨年12月16日に総選挙が行われました。ご存じのとおり自民党が大勝し、政權が再び変わりました。町政を預かる者としては、新政權の政策に注目しており、特に町の基幹産業である農業・漁業の振興策がどのように示されるのか気にしております。いずれにいたしましても、地方自治に停滞は許されません。政府の動向に注目しながら、町民の皆さまにご不便やご不安を与えないよう、今後も町政運営に当たっていきいたいと考えております。

■稲作・マグロ漁が好調

昨年の稲作は、5月下旬まで思うように気温が上がらず、作柄が心配でありましたが、夏からの好調な天気で、終わってみると豊作でありました。また、価格も例年より高めだということで、稲作農家の皆さまにとっては一安心だったのではないでしょうか。漁業の方も、高い海水温のせいとかマグロ延縄漁の走りは低調だったようですが、漁も後半に入り、徐々

に魚体が大きくなって、10月末には200キロを超えるマグロが水揚げされるなど、活況を呈しております。この好調が、来年以降も続くようお祈りしたいと思います。

■明るい話題続々と

そのほか、昨年は明るい話題が多い年でありました。4月には、津軽鉄道津軽中里駅内に「駅ナカにぎわい空間」がオープンし、通年の物産販売や各種イベントを展開しています。この空間では、直売団体のお母さんたちが、毎日特産品販売やカフェの運営を行っており、町のにぎわい創出にがんばっています。皆さんも、ぜひ一度立ち寄っていただきたいと思っております。

また、中里高校の単独校存続が決まったのも喜ばしい話題でありました。町としては、地域になくはない高校だということを一貫して県教委に訴えてきており、その願いが届いたものであります。今後も単独校として存続できるように、さまざまな支援を続けて行く所存であります。

さらには、年末にうれしいニュースが飛び込んで参りました。当町出身の打越奎也くんが、大相撲阿武松部屋入りし、プロデビューする見込みとなりました。中学生時代から全国で各タイトルを総ナメにし、高校1年でも全国制覇を成し遂

げた逸材でありますので、今後の活躍が非常に楽しみです。

■2大施設いよいよオープン

今年、町が建設している2大施設がオープンする飛躍の年です。

一昨年から進めていた「一般廃棄物最終処分場」は、今後十数年のごみを処理できる新たな施設であり、町の課題を1つ解決することになります。身近なごみに関する施設ですので、1年でも長く利用できるように、町民の皆さまには、日頃からごみの分別・リサイクルにご協力いただきますようお願い申し上げます。

一方、農産物直売所「ピュア」横には「農産物加工販売施設」がオープンする予定です。新しい施設は、今までのように販売のみを行うのではなく、加工室を完備することで、農産物に付加価値を与えて6次産業化を進め、農業者の所得向上を図るものです。この施設が大いに利用され、町内産農産物の知名度アップにつながればと思います。

町では、そのほかにも防災機能の強化など、皆さまの身近な課題を解決するべく今後も取り組んで参ります。今まで同様の協力、ご尽力をいただきますとともに、皆さまの平成25年が、夢と希望が持てる明るい年となりますようお祈り申し上げます、初春を迎えるに当たってのごあいさつといたします。



町民に信頼される議会へ

中泊町議会議長 野上 憲 幸

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、希望に満ちた新しい年を迎えられていることと存じます。町議会を代表し、心からお慶び申し上げます。また、旧年中は心温まるご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

■政権交代後の経済対策に注目

さて、わが国の経済情勢は、東日本大震災によって大きな打撃を受けながらも、復興需要などを背景に緩やかに回復しつつありますが、欧州政府債務危機の再燃や、領土問題に端を発した中国との関係悪化、エネルギー供給の制約など、引き続き下振れリスクの高い状況が続いています。

このような状況の中、昨年自民党が政権復帰しましたが、経済対策や東日本大震災からの復興への取り組みを決める今年度の予算編成に対しては、我々地方議会は、その動向を注視する必要があります。

■議会の使命を見直す

申し上げるまでもなく、厳しい財政状況のもと、各自治体を取り巻く環境はより一層厳しさを増しており

ます。とりわけ、全国における「自治体オンブズマン」の指摘の報道などに見られるように、議会の監視能力に厳しい指摘がなされています。私たち議員は、民主的なまちづくりと効率的な行財政運営を進めるために、その使命を果たすとともに、町民に信頼される議会としての取り組みを、より一層強化する必要があるものと思っております。

■求められる「意識改革」

今、議会や議員に具体的に求められていることは、議員自らの「意識改革」であり、議会が果たすべき役割を再認識しつつ、より円滑な議会運営が求められております。町民の皆さまが、この町に住んでよかったと感じてもらえるよう、議会は町民の皆さまと一体になって、日々活動してまいります。

結びに、この新年が町民の皆さまにとって、幸多い年であることを心よりお祈りいたしますとともに、私ども15人の議員と、町議会へのさらなるご支援をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

中泊町教育委員会委員長 古川 政 昭

中泊町固定資産評価 阿部 鐵 雄
審査委員会委員長

中泊町教育委員会教育長 加藤 久 宜

中泊町農業委員会会長 松 館 和 弘

中泊町選挙管理委員会委員長 工藤 萬 藏

中泊町消防団団長 成 田 勝 蔵

中泊町代表監査委員 葛西 昭 文